

(4) 教育普及事業

1. 事業の基本的な考え方

展示解説、普及活動等を行う教育普及事業は、調査・収集・整理・保存・展示・研究などの諸活動とともに、文学館活動の中で重要な位置を占める。県民のニーズに対応し、社会教育・学校教育との連携を図るなかで、文学専門の博物館としての特殊性を生かし、年間を通しての文学講座の開催、講演会の開催、文学的に価値ある映画の上映、朗読公演会、県内の文学ゆかりの地を訪ねる文学散歩を行うなど、県民や来館者の生涯にわたる学習がより一層進展するように学習支援を行っていく。

また、山梨ゆかりの作家や作品の資料を活用した学習プログラムや子ども向け事業の充実を図ることは、郷土への関心を高め、郷土を愛し、郷土に誇りを持てるような心情を育むという点からも重要である。子どもから大人までの幅広い県民の文学活動の中心となり、文化の発信拠点を目指す。

2. 教育普及活動の内容

(1) 平成25年 企画展・特設展関連教育普及事業

企画展「与謝野晶子展」、特設展「富士山と文学」に関連して、作家・研究者・関係者による講演会や関連講座を行う。企画展のテーマを詳しく解説し、展示では扱えなかった視点から考察を加えるとともに企画展そのものの理解を深められるように実施した。外部講師及び職員による講演会・講座などを通して文学を学ぶ機会を提供した。

①外部講師及び職員による講演会・文学講座事業を実施。

②関連映画鑑賞会を実施。

③ギャラリートーク（展示解説）の実施。

ギャラリートークは、土、日または、講演会後を中心に行う。その他、展示解説は要望により随時実施する。

④教師のための学習会を実施。県内の小・中・高・特別支援学校の教師を対象に春と秋の企画展に関わって、文学館職員による説明と展示観覧を通して、国語教育への活用を図る。

⑤チャレンジクイズ

楽しみながら展覧会の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供する。

⑥企画展関連イベントの実施

展示を見るだけでなく、参加して楽しめる企画を提案。平成25年度には「与謝野晶子展」に関連し、「晶子の恋みくじ」「鉄幹・晶子の歌比べ」などを行い、文学者についてより身近に感じてもらった。

(2) 山梨文学散歩

16年度から秋の企画展関連事業として実施している。文学館及び、文学館が別に定める選定要領により選定したNPO法人、旅行業務取扱資格を有し低経費で事業実施可能な公益社団法人やまなし観光推進機構、県学術文化財課との協働事業とし、コースにあたる市町村の協力のもと開催する。企画展観覧後文学ゆかりの地を訪ねることで、より興味深く学習できる内容を企画してきたが、平成24年度からは、企画展関連に限らず広く県内の文学ゆかりの地を巡ることとして実施している。

(3) 年間文学講座

年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう、土・日や平日にも開講する。

平成25年度は、外部講師による「古典文学講座（全8回）」と「近代文学講座（全8回）」の2講座と、当館の学芸員が講師を務める「山梨の文学講座（全2回）」を実施した。

講座1のテーマは「源氏物語の女君たち」、講座2のテーマは「今、村上春樹を読むということ 初期作品郡詳読」、講座3は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの人物と文学についてさまざまな視点からアプローチした。

(4) 名作映画鑑賞会

文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて考え、作品をより深く理解してもらうための企画である。平成2年から毎年実施し、企画展開催期間中には関連映画鑑賞会を実施、また、夏休みには子ども向け映画上映も計画している。平成25年度は一般向け映画5回、子ども向け映画を2回、全7回実施した。

(5) 朗読公演会

作品（詩・小説など）の魅力が朗読公演によって鑑賞する一般向けの企画を1回実施する。これは、開館の年から毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。平成25年度は、「オペラ ピノッキオ」を11月に実施した。また、幼児、小学生から大人まで、家族で朗読に親しみ、文学に触れる「お話の森朗読会」を2回実施した。

(6) 文学創作教室

俳句をはじめ短歌や詩、エッセイなどの創作を通じて、文化活動を推進する。小・中・高校生をはじめ広く県民を対象に、文学創作講座を実施する。今年度は、小説教室とエッセイ教室（一般対象と高校生対象の2回）を開催した。

(7) 山梨の文学解説講座（出前講座）

この講座は、学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者と作品を紹介する講座である。当館の研修室・講堂等あるいは市町村施設等において、説明・講義をした。

(8) 教師のための学習会

県内の小・中・高・特別支援学校の教師を対象に春と秋の企画展に関わって、文学館職員による解説と観覧を通して、学校教育への活用を図った。

(9) 児童生徒向け事業について

将来の山梨を担うことになる子どもたちに、山梨ゆかりの文学と文学者について学びきっかけを作る。学校教育との連携をより緊密にして、文学を通して豊かな心を育てていく。

① 文学教室

年間を通じ、随時開催する。小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、当館が展示する内容について、当館の研修室・講堂等、あるいは各小中学校、高等学校において、説明・講義する。

② 子ども名作映画会

当館講堂において、夏休み（2回）の期間中に良質の映画の上映を行う。

③ お話の森朗読会

朗読は、子どもたちにとって楽しく、親しみをもって文学を身近に感じてもらえる機会となる。県内で活躍する朗読指導者等の協力を得て土曜日に実施し、低年齢の子どもから大人まで、家族や親子で朗読に親しむ機会とする。平成25年度は6月と8月計2回実施した。

④ 子どもワークショップ

子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じ、文学や文学者に興味を持ってもらう機会とする。今年度は、特設展「かいけつゾロリのおたのしみ大きくせん」関連事業として、子ども向けにゾロリのエコバック作り・名刺作り、印刷博物館より講師を招き、「活版印刷体験 ゾロリのポストカードを作ろう」を行った。また、俳人佐藤文香さんによる「文香さんと遊ぶ夏休み 俳句シャワーでバビル星人をたおせ！」のワークショップを開催した。さらに、10月には歌舞伎俳優市川喜昇さん、市川喜猿さんによる歌舞伎体験教室、12月には子ども対象のクリスマスお話会、1月には、百人一首教室を実施した。

⑤ 学習ガイド（ジュニアガイドブックと教育普及用資料集）

県出身又はゆかりの文学者、作品について、小中高生の理解を深めるために、文学者、作品についての教育普及資料集を作成する。

また、常設展示室に展示されている山梨県出身およびゆかりの文学者について、わかりやすく解説したジュニアガイドブックを活用し、子どもたちが文学への興味や関心を持てるようにする。

平成25年度は、飯田蛇笏の普及用資料を改訂・増刷した。

⑥ チャレンジ文学館

常設展クイズ「わたしはだあれ？」と公園内オリエンテーリング「文学の柱追跡散歩」。

常設展を見に来た子どもたちが、ポイントをつかんで楽しく観覧できるように、常設展クイズ「わたしはだあれ？」を実施し活用を図っている。また、芸術の森公園内に、俳句や詩、短歌や童謡、小説やエッセイの一節を書いた24本の柱を立て、「文学の柱追跡散歩」としてクイズを実施する。さらに、今年度も夏休みフリーパスポートの活用により、夏休み期間中は「夏休みチャレンジ文学館」として子どもたちへの浸透を図った。

⑦ 企画展チャレンジクイズ

楽しみながら企画展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供する。

⑧ (ジュニア) インターンシップ (就業体験)

子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっている。文学館としても、中・高校・大学生の職場見学や(ジュニア) インターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。平成25年度は中学生、高校生、大学生のインターンシップを受け入れた。

⑨ 学習資料・啄木パネルの貸与

館作成資料の一部を学習のために貸与する。要請により、学校をはじめ、生涯学習事業等に対して貸与を行う。平成25年度は、「石川啄木展セット」(等身大パネル・啄木の短歌10首のパネル)を県内小中学校37校に貸し出した。また、飯田蛇笏・龍太のちまこ人形セットを作成し、次年度の貸与の準備を完了した。

⑩ リーディングシアター

新しい教育課程全面実施の中で現在各学校が教科を超えて取り組む「言語活動の充実」の一助として、小中学校の日頃の学習の成果の発表の場を作り、児童生徒の学習の目的意識や相手意識の構築をサポートすることを目的に、平成24年度から始めた。

児童生徒がお互いの発表を聴き合い、また、大人の方にも聴いてもらう交流の場をつくり、朗読の楽しさを味わい、更に読書への興味・関心・意欲を育てることにつながることをめざし、また、保護者等に文学館を知ってもらう機会とする。

(10) やまなし文学賞について

平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本文化発展の一助として、小説、研究・評論の2部門が設けられている。平成25年度は小説部門265編、研究・評論部118編の応募があった。

平成25年度 教育普及事業の実施状況

| 分類 | 内容 講師等 | 開催日・会場等 | 参加人数 |
|-----------------------------|---|--------------------------------|----------------------|
| 文学講座 1 | 「源氏物語の女君たち」1～8回 池田尚隆(山梨大学教授) | 木曜日 14:00～90分間 年8回 講堂 | 全8回 1148人 平均 144人 |
| 文学講座 2 | 今、「村上春樹」を読むということ －初期作品群詳読 小菅健一(山梨英和大学教授) | 土曜日 14:00～90分間 年8回 講堂 | 全8回 890人 平均 111人 |
| 文学講座 3 | 「赤毛のアン」の翻訳家・村岡花子生誕120年 6/27(木)中野和子(学芸員) 古典に見る甲斐の描写 9/12(木)小石川正文(学芸幹) | 年4回(但し内2回は、企画 展関連事業とする) 研修室 | 92人 72人 |
| 参加者合計 | | | 2202人 |
| 秋 企画展関連事業 | 講演会「与謝野晶子という生き方」 講師 林真理子(作家) | 9/28(土) 講堂 | 500人 |
| 「与謝野晶子展 われも黄金の 釘一つ打つ」 | 講演会 『自立』を問う人 －与謝野晶子の評論を読む－ 講師 金井景子 (早稲田大学教育・総合科学学術院教授) | 11/4(月・振休) 研修室 | 100人 |
| | 講演会「星君なりき－晶子晩年の魅力」 講師 三枝昂之(館長・歌人) | 11/14(木) 研修室 | 115人 |

| | | | |
|------------|---|-----------------|-------|
| 秋 企画展関連事業 | 講演会「あらためて読む『みだれ髪』」 講師 今野寿美(歌人) | 11/23(土・祝) 研修室 | 115人 |
| | 講座「与謝野晶子の姿 山梨での足跡を訪ねて」 講師 保坂雅子(学芸員) | 10/24(木) 講堂 | 95人 |
| | 教師のための学習会 | 10/10(木) | 15人 |
| | ギャラリートーク | | 182人 |
| 参加者合計 | | | 1122人 |
| 春の特設展関連事業 | 講座「富士を歌った詩歌」 講師 高室有子(学芸員) | 5 / 30(木) | 96人 |
| | 講演会「文芸よもやまばなし」 講師 近藤信行(前 館長) | 6 / 2(日) | 130人 |
| | 教師のための学習会 講師 高室有子(学芸員) | 6 / 6(木) | 25人 |
| | ギャラリートーク | | 331人 |
| 参加者合計 | | | 582人 |
| 夏の特設展関連事業 | ゾロリのお絵かき会 原ゆたか | 7 / 20(土) 研修室 | 130人 |
| | 原ゆたか・原京子サイン会 原ゆたか・原京子 | 7 / 20(土) 研修室 | 150人 |
| | ゾロリのお絵かき会 原ゆたか | 7 / 21(日) 研修室 | 150人 |
| | 原ゆたか・原京子サイン会 原ゆたか・原京子 | 7 / 21(日) 研修室 | 150人 |
| | 原ゆたか・原京子サイン会 原ゆたか・原京子 | 8 / 11(日) 研修室 | 300人 |
| 参加者合計 | | | 880人 |
| 名作映画鑑賞会 | 「東海道四谷怪談」 | 5 / 26(日) 講堂 | 140人 |
| | 「静かなる決闘」 | 6 / 30(日) | 260人 |
| | 子ども映画会 アニメ「サイボーグ009」 | 7 / 28(日) | 100人 |
| | 子ども映画会 「かいけつゾロリ だ・だ・だ大ぼうけん！」 | 8 / 24(日) | 515人 |
| | 「ピルマの豎琴」 | 9 / 29(日) | 260人 |
| | 「宗方姉妹」 | 10/27(日) | 150人 |
| | 「おふくろ」 | 11/24(日) | 200人 |
| | 参加者合計 | | |
| 朗読公演会 | 朗読公演会「オペラ ピノッキオ」 | 11/23(日) 講堂 | 380人 |
| 文学創作教室 | 小説教室「読むことは書くこと、 書くことは読むこと」 堀江敏幸(作家) | 7 / 7(日) 研修室 | 120人 |
| | 高校生向け創作教室 エッセイ教室 「エッセイをいかに書くか」 水木亮(作家) | 12/18(木) 研修室 | 48人 |
| | 一般向け創作教室 エッセイ教室 「あなたも魅力的なエッセイを書こう」 水木亮(作家) | 2 / 8(土) 研修室 | 24人 |
| | 参加者合計 | | |
| お話の森朗読会 | 第1回お話の森朗読会 | 6 / 1(土) 素心菴 | 90人 |
| | 第2回お話の森朗読会 | 8 / 18(土) 素心菴 | 100人 |
| 参加者合計 | | | 190人 |
| 子どもワークショップ | 国文祭ウエルカムイベント | 7 / 6(土) 甲府駅北口 | 155人 |
| | 夏休み自由研究プロジェクト | 7 / 15(月) アイメッセ | 700人 |
| | 活版印刷体験！ ゾロリのポストカードとマイノートを作ろう！ | 7 / 31(木) 研修室 | 109人 |

| | | | |
|--------------------------------|------------------------------------|-------------------|-------------------------------------|
| 子どもワークショップ | 佐藤文香さんとあそぶ夏休み 俳句シャワーでバビル星人をたおせ！ | 8 /21(水) 研修室 | 25人 |
| | 歌舞伎ワークショップ | 9 /14(土) 美術館総合実習室 | 60人 |
| | クリスマス会 | 12/ 8(日) 研修室 | 64人 |
| | 百人一首教室 | 1 / 5(土) 研修室 | 42人 |
| | 参加者合計 | | 1155人 |
| チャレンジ文学館 | 幼児 | | 165人 |
| | 小学生 | | 894人 |
| | 中学生 | | 682人 |
| | 高校生 | | 620人 |
| | 大人(大学生を含む) | | 359人 |
| 参加者合計 | | 2720人 | |
| 協力会読書会 | 辻村深月「鍵のない夢を見る」 | 5 /11(日) 研修室 | 13人 |
| | 太宰治「ろまん燈籠」外 | 6 / 8(日) | 8人 |
| | 芥川龍之介「蜘蛛の糸・杜子春」外 | 7 /13(日) 会議室 | 11人 |
| | 美里敏則「深骨」 | 8 /10(日) 会議室 | 9人 |
| | 江國香織「号泣する準備はでていた」 | 9 / 7(日) | 10人 |
| | 石川達三「生きている兵隊」 | 10/18(土) | 6人 |
| | 向田邦子「思い出トランプ」外 | 11/ 8(土) | 9人 |
| | 林真理子「胡桃の家」外 | 1 /24(土) | 12人 |
| | 山本周五郎「おさん」外 | 2 /15(日) 雪のため中止 | |
| | 小山田浩子「穴」 | 3 /14(土) | 12人 |
| 参加者合計 | | 90人 | |
| ジュニアインターシップ (就業体験受け入れ) | 高等学校 1校 | | 6人 |
| | 中学校 4校 大 学 2校 | | 18人 15人 |
| 学芸員実習 | | | 5人 |
| 参加者合計 | | | 44人 |
| 山梨の文学解説講座 (講師派遣) (一般・学校) | 小学校 4回 | | 小中高特 2039人 一般 150人 全42回 2189人 |
| | 中学校 3回 | | |
| | 高等学校 2回 | | |
| | 一 般 4回 | | |
| 参加者合計 | | | |
| 文 学 教 室 | 展示解説 | | 小中高特 2238人 一般 38人 全 回 4303人 |
| | 小学校 19校 | | |
| | 中学校 34校 | | |
| | 高等学校 19校 | | |
| | 適応教室 2校 一 般 9回 | | |
| 参加者合計 | | | 2276人 |
| そ の 他 | 移動文学館パネル展示 | 37校 | 7098人 |
| | やまなし文学賞(小説265 研究・評論118) | | 383人 |
| | リーディングシアター2012 in文学館 | | 240人 |
| | 山梨文学散歩 | 2回 | 93人 |
| | 各種団体への広報活動 | 12回 | 650人 |
| 参加者合計 | | | 8464人 |

(5) 刊行物の記録

① 山梨県立文学館館報 (A 4版8頁) 寄稿文及び資料翻刻一覧

90号 2013(平成25)年6月10日発行

【寄稿】 「目には青葉」からの飛躍 楠元六男(都留文科大学名誉教授)

【資料紹介】 太宰治御坂峠文学碑「富士には月見草がよく似合ふ」原稿、
井伏鱒二 津島美知子宛書簡ほか

91号 2013(平成25)年9月10日発行

【寄稿】 晶子は白萩か薊か 尾崎左永子(歌人・「星座」主筆)

【資料翻刻】 川路柳虹・堀口大學 中込純次宛書簡

92号 2014(平成26)年3月10日発行

【寄稿】 幾霜を経て 長田弘(詩人)

② 企画展図録 寄稿一覧

与謝野晶子展 われも黄金の釘一つ打つ

「晶子さんに至つては全くの歌人だ」

エキス表現の力・与謝野晶子の詩

晶子の児童文学

国民文学への道を切り開いた『新訳源氏物語』

「道を説く君」の四半世紀—与謝野晶子の評論活動をめぐって—

上野原の依水荘と「甲斐源氏」の歌

今野 寿美

三枝 昂之

上 笙一郎

神野藤昭夫

金井 景子

逸見 久美

③ 資料と研究 第19輯 平成25年3月30日発行 A 5版253頁

平成25年度企画展をめぐって

与謝野晶子展 われも黄金の釘一つ打つ

講演会 「自立」を問う人—与謝野晶子の評論を読む—

短歌史の中の与謝野晶子

萬屋醸造店所蔵与謝野寛・与謝野晶子関係資料目録

田中冬二 長谷川巳之吉宛書簡翻刻

堀口大學 田中冬二宛書簡翻刻

飯田蛇笏句集『雪峽』草稿について〈付写真版〉(二)

中村星湖作成スクラップブック⑤その二

金井 景子

三枝 昂之

保坂 雅子・佐藤 明子

小石川正文

中野 和子

高室 有子

三澤麻須美・水上百合子・小林 幸代

(6) 閲覧室の運営

① 閲覧室の設置

山梨県立文学館設置及び管理条例と施行規則に基づき、県民・文学館来館者への資料・情報の提供及び調査・研究に対する助言を主な事業として、閲覧室の運営を行っている。

② 閲覧室の利用

ア 利用時間

平日 午前9時～午後7時
土・日・祝日 午前9時～午後6時
※休館日は閉室

イ 利用手続

書庫内の資料を利用する場合は、「閲覧カード発行申込書」に必要事項を記入し、「閲覧カード」の交付を受ける。閲覧を希望する資料名を「文学資料等閲覧承認申請書」に記入し、受付に申し込む。

ウ 利用対象

文学資料などの調査・研究、読書を目的とした利用とする。

③ 閲覧室の業務

ア 所蔵資料の閲覧・情報提供

閲覧室では文学作品・文学研究書を中心とした図書、逐次刊行物、県内外文芸誌、新聞などを収集し、利用に供している（一部禁閲覧資料あり）。
県内新聞はマイクロフィルム、明治期刊行物はマイクロフィッシュにより提供している。

また、画像情報システムにより、特殊資料の芥川龍之介資料、樋口一葉の「たけくらべ」再掲本原稿（複製）、中村星湖「少年行」原稿、山崎方代草稿など、実物の閲覧が困難な資料を、画像で閲覧に供している。

イ 文献検索システムによる書誌情報の提供

館所蔵の資料（図書、逐次刊行物、特殊資料、マイクロ資料、視聴資料）は書誌情報をデータ化し、コンピュータ端末で、来館者が自由に検索できるようになっている。

図書データは通常の本誌情報に加え、内容細目もデータ化し、全集・シリーズに収録されている個々の作品名、作者名からの検索も可能である。

逐次刊行物については、一部のものは所載論文名、作品名、執筆者名からの検索もできる。

ウ 調査・相談業務（レファレンス）

閲覧室に寄せられた調査・相談・照会などの依頼に対しては、文献に基づき、司書、学芸員などが対応している。質問は、電話、文書、FAX、電子メールでも受け付けている。

エ 複写サービス

著作権法に基づき、一部の禁複写資料を除き、所蔵資料の複写サービスを行っている。（有料）

図書・逐次刊行物に加え、県内新聞のマイクロフィルムや、明治期刊行物のマイクロフィッシュによる複写サービスも行っている。

オ 朗読テープの利用

朗読テープは文学関係のものを中心に所蔵し、コーナーを設けて利用に供している。

カ 個人研究室・共同研究室の利用

閲覧室内には個人研究室2室、共同研究室2室が併設されており、個人及びグループでの研究・研修などの利用に供している。（有料）

キ ビデオブースの利用

文学館の紹介及び文学資料の情報を多角的に提供するため、閲覧室にビデオブースを併設し、文学館作成のビデオを中心に文学関連の映像資料を提供している。

ク 資料紹介

所蔵する資料は、ほとんどが閉架であり、直接来館者の目にふれることは少ない。そこで収蔵されている図書・雑誌の紹介を目的として、テーマを決めて閲覧室内で「資料紹介」を行っている。

ケ 書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説している（年2回開催）。

コ インターネット利用

当館のホームページでは、利用案内、展示、講座・講演会などの情報提供を行っている。また、ジュニアガイドを設けて、小中学生にも県内出身・ゆかりの文学者をわかりやすく紹介している。

館所蔵の資料の状況は蔵書検索のページで閲覧室と同様に確認できる。横断検索システムのページでは、県内外の大学図書館、県内公共図書館、国立国会図書館や類縁機関と当館の所蔵資料を一度に検索することも可能となっている。

また、平成24年11月から稼働した山梨県立図書館の横断検索システムからも、当館の蔵書が検索できる。

閲覧室事業実施状況

◆「閲覧室資料紹介」

| 回 | タイトル | 展示期間 |
|-----|-----------------|------------------|
| 112 | 富士をめぐる文学 | 平成25年 4月27日～7月7日 |
| 113 | ぼくのヒーローわたしのヒーロー | 7月20日～8月25日 |
| 114 | 与謝野晶子の世界 | 9月27日～11月24日 |
| 115 | 本のたのしみー装幀と挿絵ー | 平成26年 2月1日～4月6日 |

◆「文学者の誕生日にちなんだ資料紹介」

| タイトル | 展示期間 |
|---------------|-------------------|
| 飯田蛇笏 (4/26生) | 平成25年 4月12日～4月30日 |
| 樋口一葉 (新暦5/2生) | 5月2日～5月23日 |
| 太宰治 (6/19生) | 6月5日～6月26日 |
| 飯田龍太 (7/10生) | 7月3日～7月24日 |
| 辻邦生 (9/24生) | 9月6日～9月27日 |
| 山崎方代 (11/1生) | 10月30日～11月20日 |
| 芥川龍之介 (3/1生) | 平成26年 2月19日～3月12日 |

◆ 書庫見学

| 実施日 | 参加者 |
|------------------|-----|
| 平成25年6月15日 | 27名 |
| 平成25年11月20日・県民の日 | 67名 |



資料紹介「ぼくのヒーローわたしのヒーロー」



書庫見学(平成25年11月20日)